

続・ふるさと

こぼれ話

おおき

青木の観腸先生⑬

―酒井良清物語 学校医⑤養護教諭とともに②―

第85回

稲川あや子養護教諭
(昭和57年から2年間、上
稲毛田小学校に勤務。現
芳賀北小学校勤務)

「義母の生家が酒井先
生の近所だったからでしよ
う。義母が早朝、体の不調
を訴えたとき、下高根沢住
まいの酒井先生が遠いのに
朝早く西水沼まで、往診に
来ていただいたのが最初の
出会いでした。」

当時、学校保健委員会
が開かれていたのは県内では
芳賀町だけだったのででは
ないでしょうか。毎日の仕事
に追われていると、酒井先
生から電話があり、今度の
学校保健委員会はいつかい
と、保健委員会の催促があ
り、あわてて保健委員会の
準備を始めるようなときも

ありました。酒井先生から
の電話はいつも自分の用件
が終わるとすぐに電話を
切ってしまうようなことが
多く、こちらから相談しよ
うと思っていることがあつて
もできないことがありました。
ときばきと仕事が進まない
と納得できない性格だった
のでしよう。保健委員会の
たびに子どもたちに向けて、
その時々、話題になつてい
る薬物乱用や妊娠中絶など
をテーマにして、講話をし
てくれました。

こうした酒井先生の後
押しや熱意のおかげで、養
護教諭の仕事を務められ
たようなところがあります。
北小学校では今でも酒井
先生の意志を継いで年3
回、学校保健委員会を開

いて、学校ぐるみ、地域ぐる
みで子どもたちの体力・保
健・健康づくりを支援して
います。

酒井先生は、機会がある
たび「手洗い、うがい、早寝
早起き、朝ごはん」、「命を
大切にしなさい」と子ども
たちに訴えてくれました。

酒井先生はいつも背筋を
伸ばし、足が達者で歩くの
が速い、学校保健に熱意と
情熱を持った気骨のある立
派な先生でした。」

(つづく)



▶稲川あや子養護教諭



しまたがしの

芳賀の自然

36



ツバメシジミ

チョウ目シジミチョウ科

写真提供=芳賀町自然に親しむ会

分 布=北海道~九州

生息地=日当たりの良い人家周辺の草地を飛翔する。ヤマトシジミと混飛することもあるが、本種の方がやや小型で白っぽい。

発 生=4~11月(4~5回/年)

食 性=マメ科などが食草

大 小=開張(羽を広げた最大値)25~30mm

特 徴=裏面の尾状突起の付け根にオレンジ色の紋がある。名前の由来は、尾状突起をツバメの燕尾に見立てたところからきている。

編集後記

□スーパーやコンビニの棚から食料品が消える。ガソリンを給油するのに数時間待ち。東京電力の計画停電に繰り返し起きる余震。地震被害は、3週間ほど経った今も日常生活に何らかの影響を及ぼしています。

町内でも自宅の全壊や半壊などで避難所生活を強いられた方も多くありました。

まだまだ復興には時間がかかるでしょうが、早く平穏な生活に戻れるようお願いいたします。

(Y)



▲かしの森公園周辺

- 編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
- 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- 芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp

④芳賀町の携帯サイトはコチラから➔



この印刷物は、ESPAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
ESPA：環境保羅印刷推進協議会
http://www.e3pa.com